

「兵庫・憲法県政の会」会報

憲法が輝く兵庫県政をつくる会 2021年5月6日 第2号 (部内資料)

メール info@kenpo-kensei.com

ツイッター「金田峰生」「兵庫・憲法県政の会」

HP「兵庫・憲法県政の会」

TEL 078-335-3802 FAX 078-335-3830



市民と野党の共闘で「命と暮らしを本気で守る県政」を 憲法が輝く兵庫県政をつくる会 代表幹事・石川康宏

県民不在——自民内部の後継者争い

5期20年つづいた井戸県政の終了確定とともに、日本共産党をのぞくオール与党体制が一举に崩れています。井戸知事は後継候補として副知事をつとめた金沢和夫氏を指名し、自民党県議の多くはこれへの支持を表明しましたが、兵庫県選出の国会議員等が「金沢氏では維新に勝てない」と言いながら、維新の会の代表が知事をつとめる大阪府の財政課長だった斎藤元彦氏を担ぎだし、この斎藤氏を当の維新の会が推薦するという奇妙な動きが起きました。その後、自民党の県連は斎藤氏の推薦を決定し、東京の自民党本部も推薦を決めました。

一方、金沢陣営は、兵庫財界の中核である神戸市商工会議所の副会頭を会長につけた後援会を発足しており、兵庫の「連合」労組も金沢氏の推薦を決定しましたので、分裂の傷は深いものとなっています。起こっているのは、県政をどうしていくかというもっとも肝心な話を抜きにした、誰が県政と選挙の対立構図をつくっていくのかという自民党内部の主導権争いです。それに独自候補の擁立を目指しながらこれを果たせなかった維新が、漁夫の利を狙って首を突っ込んでいくという構図です。

立憲、国民等にも独自候補に向けた動きが

これまで井戸県政を支えてきた立憲や国民にも新たな模索が起きました。4月25日のトリプル選挙では「市民と野党の共闘」候補が完勝を果たしましたが、そうした国政をめぐる大きな変化も背景にして、独自候補の擁立に向けて動き出したのです。

結果的に、現時点で具体的な候補者名はあがりませんが、たとえば立憲の県連は斎藤氏を支援しないことを確認し、金沢氏への支援をめぐっても意見が割れているということです。

他方で、野党各党が集まる場での「反維新のために金沢支持を」という呼びかけに、各党がこれを拒否したとの情報も聞こえてきます。野党各党にも「市民と野党の共闘」につながる可能性が、急速に広まりつつあるということです。

「市民と野党の共闘」を何としても実現するために

私たちは、こうした立憲や国民の新たな動きにも注目しながら候補者選考を進めてきました。しかし、立憲等からは具体的な候補者名があがらぬうちに、7月18日の選挙まで残り時間は3ヶ月となってしまいました。そこで私たちは主導権争いに終始する自民党等の動きを傍観せず、「市民と野党の共闘」の実現を主体的に切り拓いていく立場から金田

候補の擁立を決めました。

「金田さんはいい人だが、共産党の人では共闘はむずかしい」という懸念の声もあるようですが、もはや「共産党の政治家では統一できない」という時代ではありません。

金田さんは、かつて県議をつとめ、県知事選挙に挑戦し、また国会議員選挙にも何度も挑戦してきた、試されずみの政治家です。4月15日の立候補表明の記者会見で、金田さんはこう語りました。

「県はこの間、保健所を半分に減らし、公立・公的病院の統合再編も進めてきました。それで地域医療が脆弱になっています。新型コロナウイルス感染症で608人（会見時）もの方が亡くなり、コロナ患者以外の方も、医療逼迫で受け入れ病院がなかなかみつからず、迅速な治療が受けられなかったという事態も起きました」。

「政治の転換が求められています」「私はこれから、会の候補者としてはもちろんですが、県民と野党の共同候補として、広く県民のみなさん、立憲野党のみなさんとも共同できる候補として、がんばります」。

候補者自身が「県民と野党の共同候補」「共同できる候補として」がんばる姿勢を明らかにしているのです。

「野党は共闘」の声を全県から

私たちは「憲法が輝く立憲主義の県政」を広く県民に訴えながら、あわせて野党各党に「共闘」の実現に向けたはたらきかけを行なっていくつもりです。「県民の命と暮らしを本気で守る県政」をつくるために「兵庫県でも野党は共闘」この声を県民多数の声とするために、みなさんと多いに力をあわせていきたいと思っています。

急速に変化する情勢の大局をしっかりとらえ、お互いの知恵と力と意欲をあわせて、なんとしても「共闘」を実現し、必ずや、この夏に、新しい兵庫県政を共につくっていきましょう。

「金田峰生ツイッターより」

5月1日 メーデー宣伝。「医療労働者を支援しよう」「福祉労働者の抜本質上げを」「農林漁業で働く人々への支援を強めよう」

5月3日 憲法記念日街頭演説。憲法通りの政治を。#国民投票法改正案採決に反対の声を。

5月6日 今日は西へ向かいます。昨年お話を聞けたお店の方に、最近の状況をまたお聞きできれば。再度の持続化給付金と家賃補助の支給を。

